

発行：埼玉県生活協同組合連合会
〒330-0064 さいたま市浦和区岸町7-11-5
TEL 048-844-8971
URL : <http://www.seikyoren-saitama.or.jp>



5月
14日

協同組合間の交流が毎年にぎやかに行われています 埼玉県産米の「体験田植え」 秋には「稲刈り」に挑戦！

1990年に生協と農協の協同組合間提携が始まってから、毎年組合員の交流を継続しています。今年も、田植え（JA全農さいたま主催）が、久喜市の「彩の米センター」で行われ、32家族140人の生協組合員が参加しました。田んぼの端に一列に並んだ参加者は、泥の感触に歓声を上げながらアツという間に田植えを終え、県産米おにぎりやおもちの試食など楽しい一日となりました。秋には「稲刈り」が行われます。



子ども達は「おもちつき」も体験

徐々に田植えの手際もよくなつて

稲刈りの様子（昨年）



6月
27日

生協ネットワーク協議会「全体会」 みんなで元気いっぱい活動を

「みんなで取り組んできた3年間の活動を通じ、県内生協はもとより県行政や多くの団体にも名前を知ってもらえるようになりました」とあいさつした前島会長。2005年度は「広く地域の中でつながりあうため

に」をテーマに、元気いっぱい活動し、学習・交流していく事が確認されました。



全体会に先立ち、消費者被害にあわないための講座も開催

6月
23日

埼玉県生協連第34回通常総会 期待に応える事業と 社会的役割発揮を

会員生協合計の組合員は180万人、事業高は1600億円となりました。すべての議案が賛成多数で承認され、期待に応えられる事業づくり、社会的役割発揮に努めていく事が確認されました。新会長理事に石川祐司氏（さいたまコープ理事長）が選任されました。



約4,100人の意見広告を掲載



4月
20日

埼玉新聞に意見広告を掲載 2005ピースフォーラムを開催 核兵器のない平和な世界めざして

ヒロシマ・ナガサキへの原爆投下から今年で60年。多くの方が一致できる取り組みとして、県内の消費者・平和・市民団体の皆さんが、核兵器廃絶を求める意見広告を新聞に掲載しました。同日、埼玉県生協連主催の「ピースフォーラム」でも、被爆の実相や核兵器の恐ろしさを学び、参加者は平和への思いを新たにしました。



約120人が参加した
ピースフォーラム

4月
21日

NPO法人 埼玉消費者被害をなくす会 “市町村行政調査ランキン グ”をマスコミ発表

平成12年から5年間の「埼玉県市町村消費者行政調査」の結果をもとに、比較ランキングしたものを発表しました。ランキングは、一人当たりの予算額、消費者行政予算割合の推移などを評価し、今後の消費者行政充実に向けて活用してもらおうとまとめたものです。

マスコミ4社が参加。申し出のあった4社にも資料を提供



さいたまコープ

コープ武蔵藤沢がオープン

6月21日、入間市に、さいたまコープの大型店舗「コープ武蔵藤沢」が開店しました。駅に隣接した大型ショッピングセンターへの出店は初めてです。豊富な品ぞろえで、これまで以上に地域の皆さんのお役に立つとともに、人と環境に配慮した施設や県内農産物の扱いなど、環境と地域に貢献できる店づくりをめざします。



生協ドゥコープ

7年目を迎えた「市民活動支援金」助成式

1999年より、地域の市民活動を通して誰もが安心して暮らせる地域社会をつくろうと、市民活動への助成を行っています。5月15日16団体60人が参加し、一般助成7団体、特別助成1団体に総額250万円の助成を交付しました。



生活クラブ生協

地域通貨「エコロマネー」で森づくり

今年度から、地域通貨「エコロマネー」に、環境活動をしてポイントをためると苗木と交換できる森林保全が加わりました。5月14～15日、皆野町下日野沢地区にヒノキの苗木600本を植林して、エコロマネーづくりがスタートしました。



埼玉県農林公社から技術指導を受け

埼玉県勤労者生協

消費者と生産者の交流が行われています

食と農のあり方を共に見直し、交流を深めるための「田植え体験ツアー」や「田んぼの生き物調査」を行っています。コア産地「庄内産直ネットワーク」の田んぼで生産者と消費者が一緒になって取り組み、互いの視線がより近いものとなりました。



多彩で広がりのある活動を行っています

花菱縫製生協

お昼休みの展示即売会は大盛況

約90%を占める女性従業員(組合員)に、昼休みの即売会がとても好評です。今年は、戦前まで皇室のみ使用が許されていたという16本骨傘が爆発的な売れ行きです。また、定期的に販売しているまんじゅうは、上品な甘味が女性に好評です。



医療生協さいたま

駅前健康相談に行列

埼玉協同病院の医師9人と職員27人で、夕方のJR東浦和駅前で血圧測定や健康相談を呼びかけ、短時間のうちに50人あまりの方が訪れました。参加した職員から「具合が悪くても、お金や仕事に心配で病院に行きにくくなっていると感じた」との声が聞かれました。



さいたま住宅生協

「よりよい住まいづくり」への大事な一歩

15回目となる「住まいの学習講座」が熊谷で開催され、「地震に強い住まいづくり」などのテーマで講義が行われました。講義後の、一級建築士による無料住宅相談では、7件の相談が寄せられ、関心の強さを感じました。



埼玉大学生協

活発な組合員活動も報告されました

第67回通常総代会が5月26日行われました。推薦パソコンや新規取り扱いの郵便商品(切手・ハガキ)などが好評で、全体の供給高も前年を上回った事が報告されました。学生委員会からも健康チェック、ユニセフ街頭募金、早期合格者交流会などに取り組んだことが報告されました。

